



SDGsリーダーシップ・ラボ システム変革による より良いビジネス、 より良い世界の実現へ



多様性を力に リーダーシップを統合する STEP into LIFE

IDEAS Asia Pacificは、United In Diversity (UID)とマサチューセッツ工科大学 経営大学院 (MIT Sloan School) の連携によって提供される、変革型リーダーシッププログラムです。

このプログラムは、参加者がサステナビリティの為に集合的リーダーシップスタイルを変革するため、新たな知識・スキル・フレームワークを習得することを目的としています。

詳しくは: <https://mitsloan.mit.edu/global-programs/global-programs-initiatives>

「世界の問題は、懐疑的または皮肉的な人々によっては決して解決できない。
必要なのは、“まだ見ぬ未来”を想像できる人々である。」

ージョン・F・ケネディ

はじめに

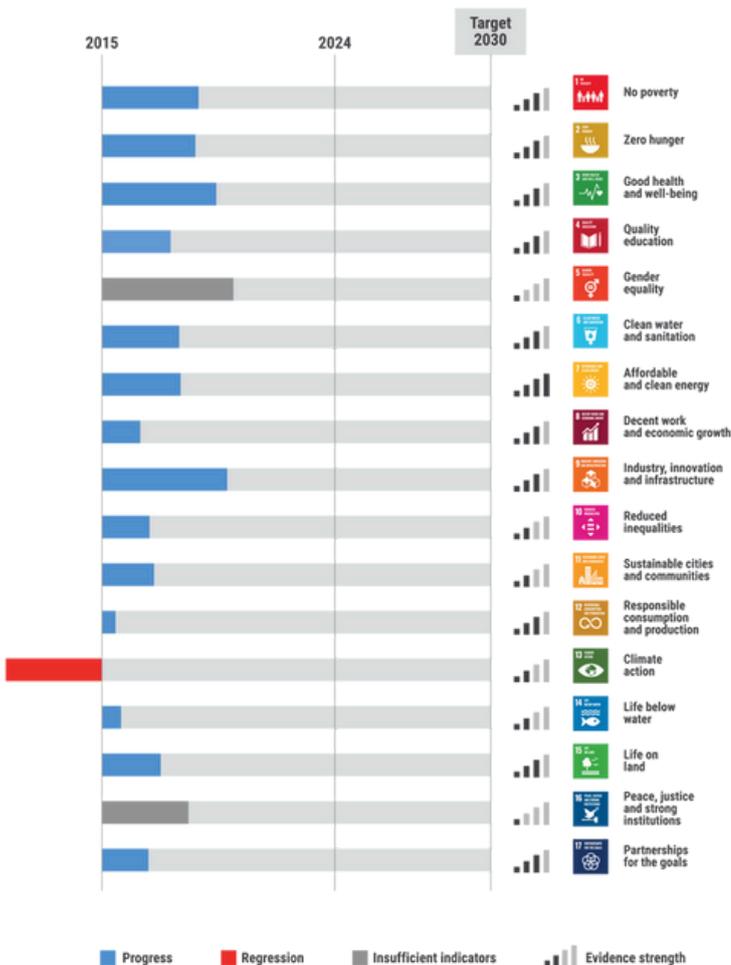
インダストリー4.0の時代、世界では複雑性が増し、アジア太平洋地域においても、システム的かつ関係性のある課題が浮上しています。こうした状況の中、私たちの未来の繁栄は、相互依存的な形でこの地域全体に広がっています。

現在、社会・技術・経済・政治のあらゆる領域で、新たな変革の機会が生まれています。こうした変革には、ビジネス・政府・市民社会(トライセクター)を横断し、複雑な課題に橋を架ける力を持つリーダーが必要とされています。そして、それは「より良いビジネスによる、より良い世界」の実現に向けた鍵となります。

ここで問われるのは――

**「持続可能で公平かつ繁栄した未来の実現に向けて、
私たちの集合的リーダーシップには、何がまだ欠けているのか？」**

アジア太平洋地域におけるSDGs進捗状況 (2024年時点のスナップショット)



目的

SDGs(持続可能な開発目標)の世界的な実行には、多国間主義の弱体化や、持続可能な開発に向けた国際協調の不足といった課題が立ちはだかっています。

現在はSDGsの中間地点にあります。達成目標は依然として遠く、現状のペースでは、アジア太平洋地域は2030年までに118項目のうち90%のターゲットを達成できない見通しです。

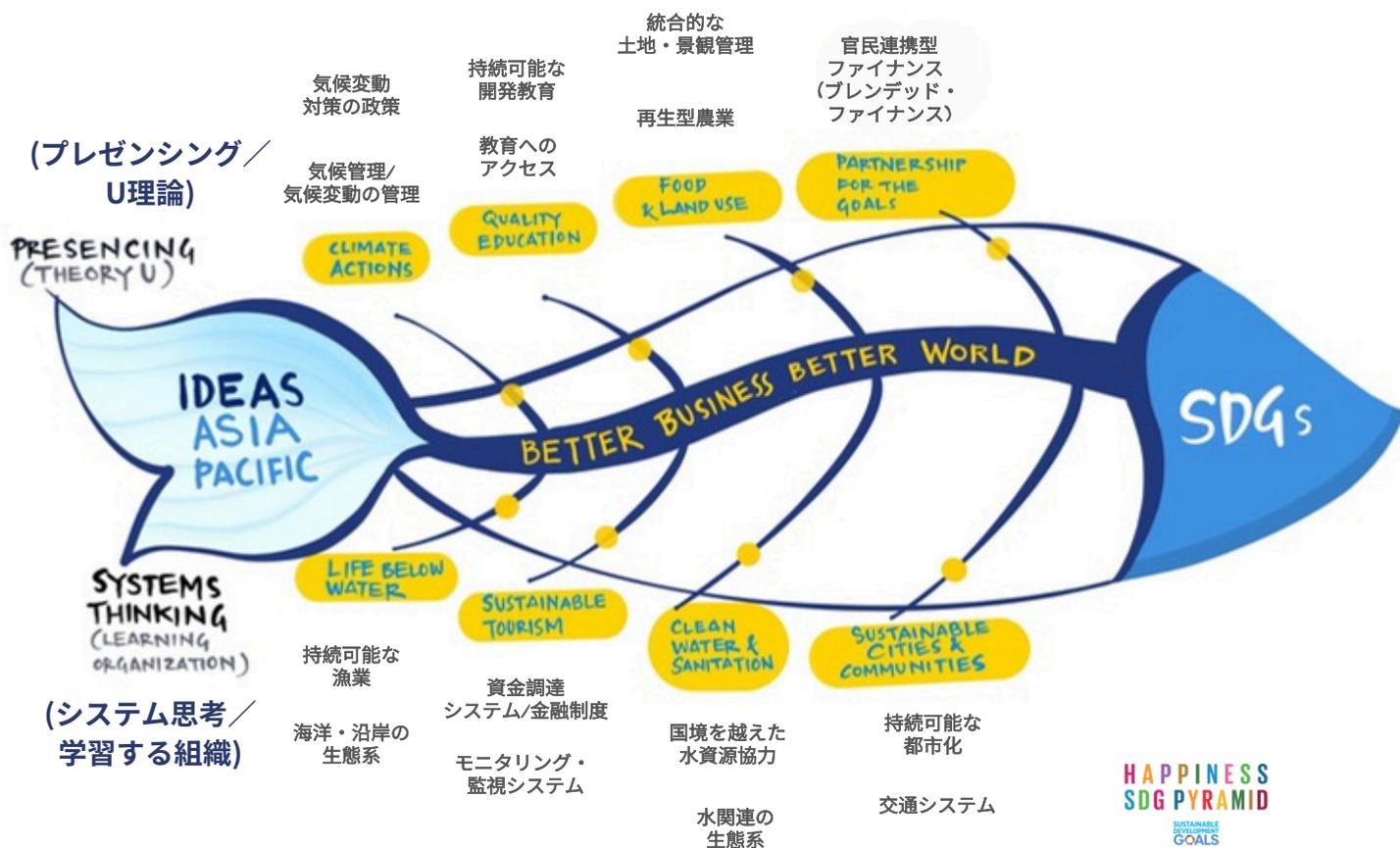
そのため、SDGs採択から8年経った今、2030年までに目標を達成するには、極めて大胆で迅速な行動が求められています。

左図は、アジア太平洋地域におけるSDGsの進捗状況を示したものであり、2030年までに多くの目標を達成するには、加速度的な取り組みが必要であることを示しています。

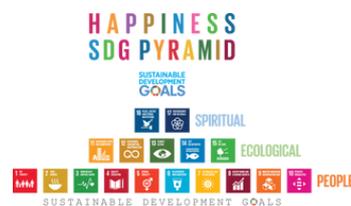
出典: アジア太平洋地域SDG進捗報告書2025年版(The Asia and the Pacific SDG Progress Report 2025)

私たちは、これらの目標を決して諦めるわけにはいきません。だから今こそ、迅速かつ賢明に行動し、知恵を活かした投資を行い、グローバルなパートナーシップを一層強化することが求められています。そして、SDGsに対する共通のコミットメントを土台として、持続可能で、包摂的かつ豊かな未来の実現を目指していく必要があります。

これから現れる未来から学ぶ “本質的なインパクト”を共創するために



図：魚の骨構造でのSDGs連動モデルーハピネスSDGピラミッドー
経済・社会・環境・精神・文化・ガバナンスを統合した発展指標のビジュアル



“
「変化と不確実性の時代において、
すべての可能な方法を使うことは繁栄
と持続可能性への鍵である。」

Armidia Salsiah Alisjahbana
国連ESCAP国連アジア太平洋経済社会委員
会事務局長、国連事務局長付

IDEAS Asia Pacificは、トライセクター (三部門：ビジネス・政府・市民社会)におけるリーダーたちが、
暗黙知を共有・活用し、協働による経済的優位性を探索しながら、「より良いビジネスによる、より良い
世界」の実現に貢献する機会を提供します。

このアクション・ラーニング・ラボでは、トライセクターのリーダーたちが、変革のための新たなアプ
ローチを探る中で、既存の枠を超えたパラメーター(視点・枠組み)を調査・実践します。

「持続可能性へのSTEPは、L.I.F.E.の機能である」
L.I.F.E. = Leadership(リーダーシップ)、Innovation(イノベーション)、
Foresighting(先見性)、Entrepreneurship(起業家精神)

学習コンテンツ

■ 理論基盤モジュール:

- ・ ソーシャル・テクノロジー：Presencing / U理論
- ・ 学習する組織：第五の規律(ピーター・センゲ)
- ・ システム思考
- ・ 人間中心のテクノロジー
- ・ SDGsと統合型ファイナンシャル・リテラシー
- ・ サーキュラー・エコノミー(循環型経済)
- ・ テクノプレナーシップ&アントレプレナーシップ



■ 実践型ラボ(Practice Lab)

- ・ Innovators Compass(革新者の羅針盤)
- ・ ケースクリニック(現場課題の分析)
- ・ Co-Initiating Network(協働的立ち上げ)
- ・ ソーシャル・プレゼンシング：4Dマッピング

“生きた実験室(Living Laboratories)”でのプロトタイピングと進化的プロジェクト開発を通じて、競争優位性だけでなく「協働的優位性」を共創し、実践的なアクションにつなげます。

学びの旅

Cohort 3.0 2026年度クラス

オンボーディング モジュール

目的:参加者の歓迎と全体概要の理解
日程:2026年3月18日
(1日間・オンライン/Zoom)



共創開始モジュール (Co-Initiating)

目的: イントロダクションと
信頼構築
日程:2026年4月20~23日
(横浜にて対面4日間)

修了モジュール (Completion)

目的: プロトタイプ発表および修了式
日程: 2026年11月下旬~12月上旬(予定)
形式:対面ワークショップ
(インドネシア・ジャカルタ、3日間)

ガイド付き アクション・ ラーニング①

目的:個人および組織に
関する学びの深化
(パーソナル&
オーガニゼーション・ラボ)
日程: 2026年4月~6月

共感モジュール (Co-Sensing)

目的:基盤構築
日程:2026年6月8~12日
(マサチューセッツ工科大学キャンパス・
米国ケンブリッジにて5日間)

プロトタイプピン グ・ モジュール

目的: プロトタイプ案の
ブラッシュアップと試作
日程:2026年8月~11月
形式:主体的な スモールグループ活動

ガイド付き アクション・ラーニング②

目的:個人および組織に関する
学びの実践と内省
日程:2026年6月~7月
形式:主体的な アクションラーニング

ディープダイブ・モジュール (重点探究モジュール)

目的: プレゼンシング・プロセスの
実践と深掘り
日程:2026年8月4日~9日 (6日間)
形式: 対面(インドネシア・
パリ島UIDキャンパス)

より良い世界の
ためのビジネス

エコシステム重視の
イノベーション

意識に基づく
リーダーシップ

SDGs志向の
ソリューション開発

アジア太平洋
リーダーズネットワー
クとの連携

IDEAS Asia Pacificフェローシップの価値提案



MIT-UID上級教員による
オンラインと対面の
ハイブリッド体験型
ラーニングプログラム



米国マサチューセッツ州
ケンブリッジの
マサチューセッツ工科大学
キャンパスにおける
実践型アクションラーニング体験



マサチューセッツ工科大学
経営大学院からの
修了認定証の授与



修了生はマサチューセッツ工科大学
アフィリエイト(準所属)
ステータスを取得



マサチューセッツ工科大学
メール転送アドレスの提供



MIT-UID アジア太平洋
リーダーズネットワークとの
接続機会

アジア太平洋から選ばれた 45名のフェローたち



つながりを持ったリーダーたちは、
持続可能で公平な世界の創出に向けて、
深いイノベーションとシステム変革を起こす力を
持っています。

次世代を担う卓越したリーダーたちが、
自身の組織や地域社会を導くキープレイヤーとして、
内外の変革を推進する役割を果たします。

特にマルチステークホルダーの環境下で、
システムチェンジをリードしてきた実績と
経験を持つ人材が対象です。

インドネシア|シンガポール|日本|中国|フィリピン|太平洋諸島|マレーシア|ニュージーランド|
オーストラリア|パプアニューギニア|韓国|タイ|カンボジア|ベトナム



IDEASフェローシップ・サークルは、「より良いビジネス、より良い世界」を
共創のための指針を共有していると私たちは信じています。」

フェローシップ参加費用について

2026年度クラス IDEAS Asia Pacificプログラムへの参加費用：

1名あたり US\$20,000 (12ヶ月プログラム)

※渡航費・宿泊費は別途

企業・団体による支援の機会: スカラシップ基金へのご支援を通じ、支援者(ベネファクター)としての
参画が可能です。

プログラムディレクター& 主任講師



Dr. C. Otto Scharmer (C・オットー・シャーマー博士)

マサチューセッツ工科大学経営大学院上級講師/Presencing Institute創設者 MIT IDEAS プログラムの創設責任者。Theory Uの提唱者であり、Daimler、Fujitsu、PricewaterhouseCoopersなど世界的企業のリーダー育成プログラムを共創。国連グローバルリーダーズプログラムの中核メンバーでもあり、持続可能な未来のために個人や組織の変革(トランスフォーメーション)を支援する理論と実践を構築。

詳細はこちら: <https://mitsloan.mit.edu/faculty/directory/otto-scharmer>

MIT教員陣 (過去のプログラムより)



Dr. Peter Senge

マサチューセッツ工科大学
「経営大学院・リーダーシップと
サステナビリティ分野上級講師



Dr. Katrin Kaeufer

Just Money Program
ディレクター(マサチューセッツ
工科大学コミュニティ・
イノベーションラボ)



Dr. Phil Thompson

都市計画・政治学者
(ハーバード大学 卒/
ニューヨーク市立大学博士)



Dr. John D. Sterman

マサチューセッツ工科大学
システムダイナミクスグループ
所長/教授



Dr. Alex "Sandy" Pentland

MIT Connection ScienceとWide
Initiativeをリードし、MIT Media
LabとMedia Lab Asiaの立ち上げ
を主導

地域ファカルティ(アジア太平洋圏)



Ben Chan

(シンガポール)
UIDシニア・ラーニング・
ファシリテーター



Frans Sugiharta

(インドネシア)
UIDシニア・ファシリテーター



Dr. Shohli Lailawita

(インドネシア)
UIDシニア・ファシリテーター



Bel Lopez Villavicencio

(フィリピン)
個人・組織変革ファシリテーター
(TRAIL共同創設者)



Marisol Lopez-Eslava

(フィリピン)
TRAIL共同創設者・Rizal
Leadership Academy代表



Anna Leong

(シンガポール)
プレゼンシング・
インスティテュート・サークル
シンガポール支部メンバー



Chenny Galiano

(フィリピン)
ビジネス開発・
アントレプレナーシップ専門家



野田浩平(博士)

(日本)
GLOBIS経営大学院
研究ファカルティ
(リーダーシップ・志分野)



Puti Advanti Indah Lestari

(インドネシア)
Shifthink共同設立者



Indra Zaka Permana

(インドネシア)
ビジュアルストーリーテリング
専門家

プログラム・マネージャー



ケイティ・スタブリー
(オーストラリア)

UWA社会的インパクトセンター
の戦略デザインマネージャー、
Presencing Institute教員、
UWAとUNSWで社会的インパクト
やシステム思考を教え、
西オーストラリア州の大規模な
変革プロジェクトを共同リード



ブラッドリー・チェノウェス
(オーストラリア)

ANU対話センター所長、
UWAロースクール客員フェロー、
Presencing Institute教員
弁護士で、Resolution Instituteの
上級メディエーター兼
主任トレーナー



Pramita Indrarini

(ジャカルタ)
UID財団・学習ファシリテーター



Elizabeth Galvin Orozco

(米国ケンブリッジ)
マサチューセッツ工科大学
経営大学院・グローバル
プログラム アソシエイトディレクター



IDEAS ASIA PACIFIC 3.0 (2026年度) への 参加にご関心はありますか？



上記のQRコードをスキャンし、フォームにご記入ください。
プログラムへの関心や、IDEAS Asia Pacific ファカルティとの
対話を深めたい意思を表明することができます。



お問い合わせ先



FRANS SUGIARTA

(フランス・スギアルタ)

シニア・ラーニング・ファシリテーター

United in Diversity財団 (インドネシア)

E : frans.sugiarta@gmail.com



DR BEN CHAN

(ベン・チャン博士)

シニア・ラーニング・ファシリテーター

United in Diversity財団 (シンガポール)

dr.ben.chan.sg@gmail.com



ELIZABETH GALVIN OROZCO

(エリザベス・ガルビン・オロスコ)

アソシエイト・ディレクター

マサチューセッツ工科大学経営大学院

グローバル・プログラム部門(米国)

egalvin@mit.edu



多様性を力に リーダーシップを統合する STEP into LIFE